

企画展

2026 5/16 Sat.

8/9 Sun.

ものものぐ

# 物具

# ミュージアム

## 展示会関連行事

### 1. 講座「甲冑師という仕事」

7月4日(土) 13時30分～

講師：高橋一幸氏 (高橋甲冑工房)

### 2. 展示解説会

① 6月20日(土) 13時30分～

② 8月1日(土) 13時30分～

【開館時間】 午前9時～午後4時45分 (最終入館は午後4時まで)

【休館日】 毎週月曜日 (ただし、5月25日、7月20日は開館し、翌平日は休館)

【観覧料】 一般400円(350円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円)

( ) は20人以上の団体割引料金です。

※南相馬市と飯館村に居住・通学する小中高校生は無料。

障がい者の方と付き添いの方1人、生活保護世帯の方は無料。入館の際に手帳等をご提示ください。

※無料開館日：5月17日(日) 国際博物館の日(5/18)にちなみ

## 南相馬市博物館

〒975-0051 福島県南相馬市原町区牛来字出口194番地  
TEL 0244-23-6421 FAX 0244-24-6933



博物館公式WEB

# ものものぐ 物具ミュージアム

「物具（ものものぐ）」とは、本来「道具」を意味する言葉ですが、武士が身に着ける装具、なかでも甲冑を指す言葉としても使われてきました。

相馬地方に伝わる国重要無形民俗文化財「相馬野馬追」は、騎馬武者たちが甲冑を身に着けて出馬する祭礼であることから、この地域には、今も数多くの甲冑が伝えられています。当館は開館以来約30年にわたって、野馬追の研究とともに、それらの甲冑、すなわち「物具」の調査研究を進めてきました。いわば当館は「物具ミュージアム」ともいえるもう一つの顔を持っているのです。

本展示では、調査研究によって少しずつ見えてきた、中村藩主相馬家の甲冑の特徴をはじめ、近年新たに見つかった、藩主相馬家所用甲冑の古写真、相馬の武士の家に伝わってきた甲冑、中村藩領内で製作された兜など、知られざる「物具」のすがたに触れながら、その奥深い魅力と新たな発見を紹介します。

## 少しずつ見えてきた 中村藩主相馬家の甲冑の特徴とは

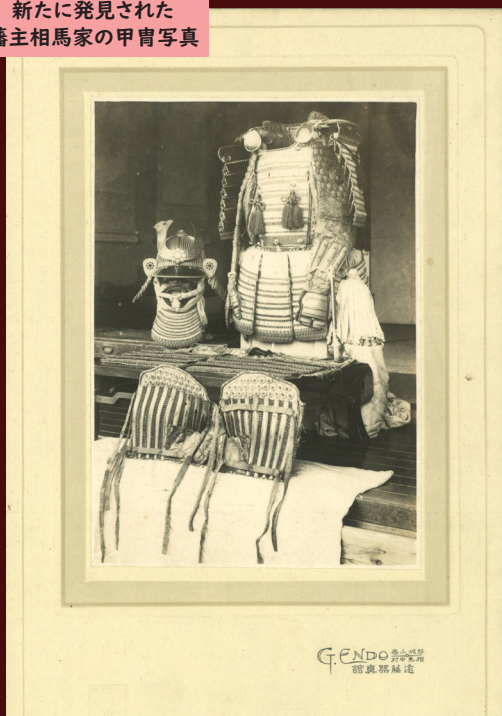


黒漆塗縦矧五枚胴具足  
(伝相馬家所用)  
江戸時代 個人蔵



栗色塗縦矧二枚胴具足  
(伝相馬家所用)  
江戸時代 個人蔵

新たに発見された  
藩主相馬家の甲冑写真



相馬家所用甲冑古写真  
近代撮影 相馬胤茂氏蔵

相馬の武士の家に  
伝わってきた甲冑



黒漆塗板札色々威二枚胴具足  
江戸時代初期 泉田達生氏蔵

## 相馬の武士の 甲冑とは

中村藩領内で  
作られた兜



黒漆塗十八間筋兜  
江戸時代末期（嘉永6年〔1853〕） 個人蔵  
銘「中村住紀宗充 / 嘉永六癸丑正月吉日」